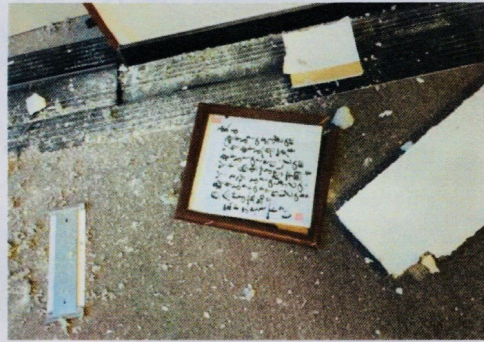


能登半島地震報告

(七尾教会 七尾幼稚園 羽咋白百合幼稚園)

2024年5月10日現在

2024年1月1日、能登半島地震発生。七尾は震度6。大津波警報が発令されました。



地震直後、被害がすぐ目についたのは、2階部分でした。内壁が落ち、エキスパンジョイントが落ちていました。



幼稚園園庭の一部には液状化も見られました。礼拝堂・園舎とも外壁のクラックは無数にあります。



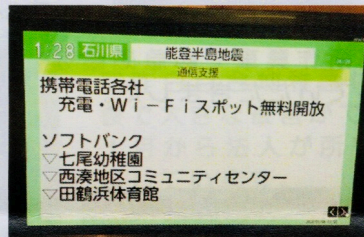
幼稚園に隣接する小丸山公園が、「津波避難所」であった為、1日夜に公園にあがった方々を臨時に避難する場所として使えないかと、地域の防災士さんからの申し出がありました。

幼稚園は電気が使用でき、断水中ではあったものの井戸水の使用が可能だったため、臨時の避難場所として開放しました。1日夜は120名ほど、2日～7日までは60名ほどの方が園内で過ごされました。



3日からは支援物資も届けられるようになりました。

トイレは井戸水をバケツで流す。トイレットペーパーはゴミ箱へ。手洗いせずに消毒液というルール。



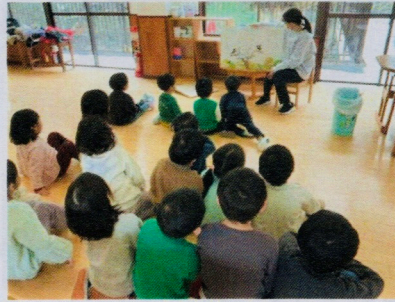
技能実習生が複数名滞在していた為、Wi-Fiスポットも設けられました。



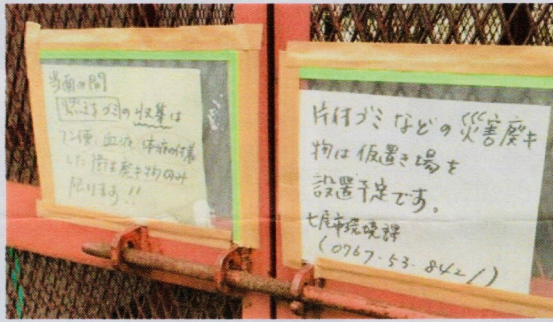
1月8日(祝)に全員が次の避難所にお移りになり、臨時避難所としての役割を終えました。



七尾教会の主日礼拝は、1月7日から通常通り守られています。第一主日に聖餐式もされています。



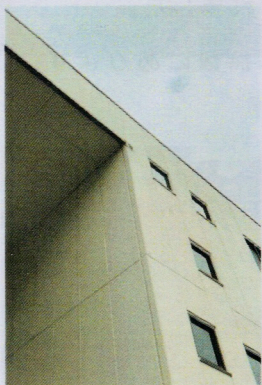
幼稚園・学童保育は1月5日から受け入れを開始。小学校は最初はオンライン授業期間もありました。



ゴミの収集は衛生ゴミのみの受付が続き、通常通りになるまでに1ヶ月かかりました。



JR 七尾線が金沢まで運行再開となった時には、教会員が取材されました。



幼稚園玄関上のクラックが大きくなり、落下の危険が指摘されました。



高所作業車で応急処置をしていただきました。



教会に隣接する小丸山公園の展望台に亀裂が見つかり公園は立ち入り禁止となりました。



断水中のトイレ

1月下旬、七尾市の幹旋により給水タンクが設置されました。全国からの給水車が来て下さいました。2月8日に通水を確認。20日から飲用可となり、タンクが撤去されました。



屋上のひび割れの為、雨漏り。



予定より早い断水解消だった為、支援物資でいただいた「水」などは、北陸学院宗教センターを通じて、奥能登の被災地に送りました。





七尾教会から歩いていける教会員の家屋は大きく被災しています。教会関係者のお家で全壊となっている所もあります。七尾幼稚園教師の自宅でも、半壊のものが複数います。



2月長老会



羽咋白百合幼稚園は、地盤沈下、亀裂で大きな被害がでています。1月から法人が所有する別施設で運営しています。5月連休明けから工事が始まりました。通常の保育室に戻れるのは6月、園庭で遊べるめどは立っていません。

羽咋白百合学院は釜土達雄が理事長をつとめています。



3月31日、イースター。七尾教会教会学校のイースターは、幼稚園の卒業生に案内を出して、教会学校のイースター礼拝と卵探しをしました。19名の出席がありました。(通常は0～2名の出席です。)



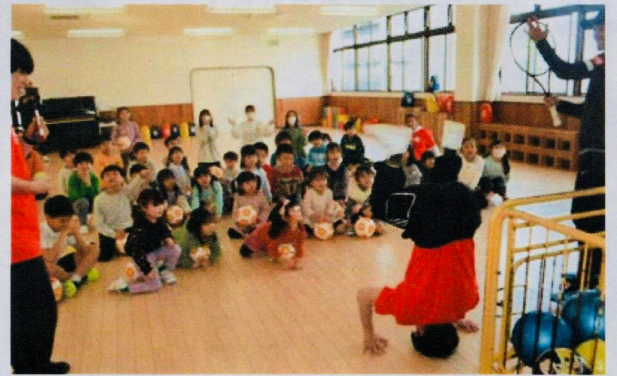
七尾教会主日礼拝後、イースター愛餐会。



七尾幼稚園、七尾教会にはたくさんの励ましをいただきました。



ボランティア活動の途中で立ち寄ってくださった方、遠くの幼稚園からのメッセージ



サザエさん、アスリートの方々、そしてピカチュウも来てくれました。



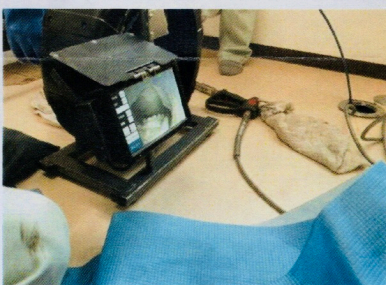
全国の諸教会からのメッセージは教会の玄関に掲示しています。



4月3日には、日本基督教団総会議長の雲然先生が来て下さいました。

七尾幼稚園屋上より

羽咋白百合幼稚園
内部



4月中旬、それまで使用できていた子供用のトイレがつまってしまい、しらべていただいたところ、下水管の破損が見つかりました。子どもたちのトイレの一部が使用できなくなりました。5月中旬には工事できる予定です。



5月、七尾教会の森山奈美長老がTV出演。能登復興ネットワーク事務局長として、様々な復興支援活動をつなげてサポートしています。



元日に起きたという特殊性もあり、復旧工事がなかなか進みません。今も倒壊した家屋の解体はほとんどおこなわれていません。時計は止まったままです。

能登半島は東京都と同じ広さがあり、地域の復興には大変な時間がかかると思われます。

どうか能登を忘れずに覚えて、お祈り下さい。

作成:七尾教会 執事会